

高梁2025 “地域医療はまちづくり”^⑫

「高梁2025」は、持続可能な地域医療体制の構築に向けた取り組みの総称です。

潜在看護師さんへ ～高梁市内で少しずつ働いてみませんか～

新型コロナウイルスの感染拡大により医療従事者の負担増加は深刻な状態となり、コロナ禍以前から看護師が不足・高齢化している高梁市においても同様の状況です。こうした中、資格を持ちながら現在は特定の組織に籍を置いていない「潜在看護師」の復職支援などが全国で行われています。岡山県でも、離職により最新の知識や看護技術に不安がある潜在看護師に対する復職支援の取り組みとして、県ナースセンターによる技術支援講習会を実施しています。

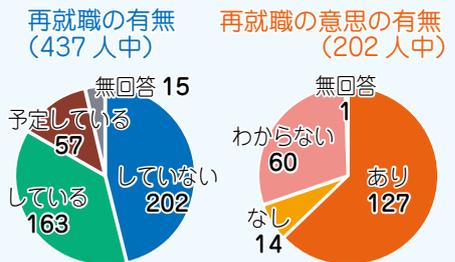
高梁市では、「高梁かんどねっと」で、市内医療機関などへ就職を希望する人への相談対応や県ナースセンターへの登録支援、スキルアップ研修会などを行っています。もう一度看護師として働きたいなどの希望をお持ちの方は、高梁かんどねっと(☎ 21-3801)へご相談ください。



令和元年に行われた研修の様子

離職した看護師の再就職の意向

県看護協会などが実施した調査では、県内で令和2年度に離職した人のうち、看護職として再就職したいという意思がある人は約6割。結婚・子育てなどで一度離職しながらも、看護職としてまた働きたいという意思がある人が多くいることがうかがえます。



市ウェブサイト「高梁2025～地域医療の高梁モデル構築に向けた100の検討とアクション～」にこれまでの議論の内容などを掲載しています。



問介護医療連携課 ☎ 21-0304 / (一社)高梁医師会(高梁かんどねっと) ☎ 22-3801

健康づくり応援通信^{④5}

問健康づくり課 ☎ 21-0267

乳がん・子宮頸がん検診を受診しましょう

乳がんと子宮頸がんにかかる人の数が増えています。

乳がんは40歳代から、子宮頸がんは20歳代から増える傾向があり、その年齢になる人は以降毎年検診を受診し、早期発見に努めましょう。集団検診の日程および医療機関検診については「令和3年度けんこうガイドブック」を参照して、都合の良い方法で受診してください。

また、乳がん・子宮頸がんは早期発見することで治る病気です。特に乳がんは自分で見つけられる可能性が高いがんで、60%以上はセルフチェックによって発見されています。

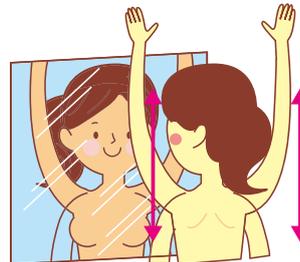
令和2年度 高梁市 がん検診 受診者数・結果

	乳がん	子宮頸がん
受診者	924	941
精密検査受診者	40	10
がん発見者(疑い含む)	2	0

毎月1回、乳がんのセルフチェック

※乳がんの60%は、セルフチェックで発見されています

目でチェック



腕を高く上げた状態で、手を腰に当てた状態で、ひきつれ、くぼみ、乳輪の変化、乳首のへこみ、湿疹などがないかを確認します。

触ってチェック



① 指を揃え、指と肋骨で乳房を挟むように触れ、「の」の字を描くように動かし、しこりや硬い部分がないかなどをチェックします。
② 乳房や乳首をしぼるようにして、乳首から分泌物が出ないかをチェックします。